

代表質問 (2)、議会 NEWS ①

市長の施政方針の概要、代表質問 (1)

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整



田無庁舎市民広場

のコスト面の比較検証、また基金積み立ての財源確保の期間設定を検討した結果、建築年次が後である田無庁舎の市民広場を活用する暫定的な対応であり、庁舎統合方針が目指す最終完成形ではない。全市的な議論を喚起し、方向性を定めることができるのが重要だ。整備手法について見解は。

市長 市としても健康増進に取り組み、職員の喫煙所の利用制限を実施した。

意見 公共施設の喫煙所が廃止されればポイ捨てが増える懸念している。完全な分煙を要望する。

質問 都内初の取り組みとしてフレイル予防事業がスタートした。平成30年度の取り組みと事業への専門職のかかわり、事業の普及啓発は。

市長 平成29年度は養成研修を2回実施し26名のフレイルサポーターを養成した。平成30年度からは自主運営に向けた取り組みを開始する。また、予防対策のみでは効果的な改善が難しい場合は、各種専門職にアドバイザーをいたいただき、同時に市民に日常業務の中でフレイル予防の取り組みを広く紹介していただくなどの協力をお願いしたい。

意見 鍼灸師・柔道整復師の専門職の協力を受け事業を推進してほしい。

質問 保谷中学校夜間照明の設置工事について、平成30年度に着手するが、市民開放に向けて調整をすべきと考える。見解は。

教育長 地域の皆様のサポート活動等の利用に調整して、今後関係各課と調整を図り検討していく。

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

視察受け入れ状況を報告します			
月 日	都道府県	市区町村	視 察 目 的
4月14日	山 梨 県	北 杜 市	公共施設の適正配置に向けた取り組みについて
4月26日	神 奈 川 県	横 須 賀 市	中学校給食の実施について
5月19日	愛 知 県	知 立 市	下野谷遺跡公園について
7月11日	福 岡 県	福 岡 市	ささえあいネットワークについて
10月12日	千 葉 県	勝 浦 市	友好都市としての都市間交流について
10月26日	東 京 都	中 央 区	フレイル予防の取り組みについて
10月30日	広 島 県	東 広 島 市	ほっとネット事業について
11月 8日	兵 庫 県	西 宮 市	公共施設マネジメントについて
11月13日	岩 手 県	紫 波 町	行政評価について
1月15日	愛 知 県	知 多 市	都市と農業が共存するまちづくり事業について
1月31日	東 京 都	葛 飾 区	親子方式の給食調理について
2月 9日	東 京 都	東久留米市	地域公共交通、コミュニティバスの実施状況について
2月14日	千 葉 県	千 葉 市	田無第一中学校で開催している放課後カフェ運営について

市議会では、当市の先進的・独自性のある各種事業について、毎年、全国の多くの地方議会議員の方々による行政視察を受け入れています。平成29年度は、下表のとおり合計13団体を受け入れました。

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市議会では、当市の先進的・独自性のある各種事業について、毎年、全国の多くの地方議会議員の方々による行政視察を受け入れています。平成29年度は、下表のとおり合計13団体を受け入れました。

市長の政治姿勢について
質問 施政方針の中で「健康イクボス・ケアボス宣言」

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市長 平成45年度を目途に市中心エリアでの庁舎統合を目指す。保谷庁舎を取り壊し、田無庁舎に仮庁舎を整備した上で保谷庁舎機能を田無・保谷庁舎敷地に再配置する暫定的な対応とした。

質問 平成30年度末で市民会館が閉館するが、必要な活動場所の確保に向けては官民連携事業による施設整備を方向性の一つとして示している。必要とする施設の規模や機能が定まらない状況でアイデアの募集も難しいと考えるが、見解は。

市長 具体的な内容や事業期間、事業実施に係る収支は調査を実施した上で整理したい。市民の皆様との意見交換を丁寧に進める。

質問 図書館中長期計画について、3館合築複合化の議論の中でも市長の思い入れが示された。これらまでの議論を踏まえ、中央図書館や地域館のあり方、位置について、どのように整

市議会では、当市の先進的・独自性のある各種事業について、毎年、全国の多くの地方議会議員の方々による行政視察を受け入れています。平成29年度は、下表のとおり合計13団体を受け入れました。

代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、平成30年度の市長の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。2面～7面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

市長の施政方針の概要
 詳細は市報3月15日号、市ホームページでご覧いただけます。

はじめに
 職員とのコミュニケーションを重ねながら、組織機構を強化・連携しつつ、情報公開、市民参加・市民協働により、「健康」応援都市の実現を目指し、これからも市政運営に努めてまいりたい。

「これからのまちづくり」
 少子高齢化が進む中、市民の活躍が生きて暮らす地域社会の構築を目指していく必要がある。そのため、あらゆる世代が意見を述べる機会を確保しつつ、若い世代の、まちづくりに対する関心を高め、参加を促すとともに、その意見を

行財政改革の取組
 第4次行財政改革大綱については、本年1月、第2次総合計画・後期基本計画の策定にあわせて中間見直しを行って改訂した。平成30年度予算編成までに答申を得たいと考えている。

一方、「健康」応援都市や地域共生社会の基盤となる地域包括ケアシステムの構築や、公共施設の適正配置・有効活用といった取り組みを進めていく上で、市内のエリア設定に一定の基準を設ける必要がある。

基本計画についても、後期基本計画、第4次行財政改革大綱にあわせて見直しに着手する。

2庁舎体制については、田無庁舎市民広場解体工事などに取り組みとともに、田無庁舎、防災・保谷保健福祉総合センターの老朽化対策工事を実施する。また、真の庁舎統合の実現に向けては、市中心エリアでの統合庁舎の位置について、検証を進めていく。

泉小中学校跡地については、民間資本による高齢者福祉施設整備に向けた整備・運営事業者の選定や、公園整備に向けた基本・実施設計などに取り組み。

西東京市民会館については、老朽化や安全性などの課題があるため、平成30年度末をもって閉館する。閉館後の活動場所の確保については、官民連携事業により整備したい。

中央図書館・田無公民館は、耐震補強工事、施設維持改修により、耐震・老朽化対応及び利便性の向上を図る。20万都市にふさわしい中央図書館の機能やあり

方、地域館の役割などについて、図書館中長期計画を策定する中で結論づけたい。

平成30年度の主要な取組も「健康もつと元気に」新たに地域でのフレイルチェックの自主運営に向けた取り組みを開始する。

田無高齢者在宅サービスセンターの運営体制を見直し、泉小中学校跡地で高齢者福祉施設の整備に向けた事業者選定を行う。

平成30年度から就労準備支援事業をスタートする。スポーツ・運動施設の指定管理者を東京ドームグループに移行し、さらなるスポーツ振興に努める。

リレマラソンを継続開催するとともに、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合と連携し、障害者スポーツの普及啓発や理解促進を図る。

保谷中学校校庭とテニスコートに夜間照明を設置する。

災害に強い快適な都市インフラ整備を進めよう

ひばりヶ丘駅北口で3・

4・21号線整備を進め、エレベーター・エスカレーター整備を完了する。

東伏見駅周辺地区で西武新路線の連続立体交差事業を推進する。

田無駅南口駅前広場について、事業認可後に整備を進める。

東京都の無電柱化チャレンジ支援事業制度を活用し、推進計画を策定する。

南部地域で勉強会を開催し、移動支援の方法などを検討する。

下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用、資源物の戸別収集方式について検討する。

あなたと変える
 いっしょに変える

南部と西部地域協力ネットワークの支援、中部地域でのネットワーク設立に取り組む。

行政提案型のNPO等企業提案事業を実施する。

女性の働き方サポート推進事業でビジネスプラン・コンテストを実施する。

産業振興マスタープラン後期計画の策定、第2次農

基本テーマであるものの第2次総合計画本体には組み込まれていない。今後どのように位置づけ、政策の柱としていくのか、見解は。

市長 後期基本計画の策定にあわせて統合する方針だ。議論を進める中で、考え方の反映、基本目標や各施策指標等を整理する。

行財政改革について
質問 仮庁舎整備は、真の庁舎統合に向けて、保谷庁舎の老朽化や耐震化対応と

業振興計画の中間見直しに取り組み。

次世代への責任をしっかりと果たそう

認可保育所、小規模保育事業所の開設など、待機児童の解消に取り組む。

田無第三学童クラブの開設（仮称）中原学童クラブの開設準備を進める。

平成30年度の新入学生用品の入学前支給の実施に取り組む。

小学校3校、中学校1校にスクール・サポート・スタッフ、全中学校に部活動指導員1名を配置する。

（仮称）第10中学校の建設工事、中原小学校舎の解体工事を実施する。上向台小学校の大規模改修事業、保谷第二小学校の校庭整備工事、田無小学校校舎改修に向けた実施設計を行う。

平成31年1月から、公共施設予約管理システムの新システムを稼働する。

マイナンバーカード交付率の向上に向け組み、住民票等自動交付の平成31年8月の廃止に向けた市民周知に努める。